

- P1 株主のみなさまへ
- P3 成長戦略
- P4 完成・受注工事のご紹介
- P5 財務情報
- P7 上半期トピックス
- P9 技術のご紹介



TODA Brand Message

人がつくる。人でつくる。

ここで過ごす人々の姿を、
ここからはじまるしあわせをイメージしながら。

アイデアでつくり。情熱でつくり。
さまざまな人の想いをつないでつくり。

アタマとココロを使って
人間にしかできないものづくりを目指して。

人がつくる。人でつくる。
それが戸田建設のやりかたです。

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の我が国の経済は、東日本大震災の影響からの回復傾向にあり、企業の生産活動などの面で持ち直しの動きが見られました。しかしながら、急速な円高の進行、世界経済の減速により下振れリスクが高まっております。

このような経営環境のもと、当上半期における当社グループの業績は、売上高は完成工事高の減少により1,814億円と、前年同期比4.5%減少となりました。利益面につきましては、売上総利益率の低下により0.7億円の営業損失となったものの、営業外収支の改善もあり、経常利益6億円、四半期純利益0.4億円となりました。

建設受注高(個別)につきましては、重点分野(医療・福祉施設、教育施設、事務所、生産施設、都市インフラ)のほか、大型流通施設、土壌汚染対策工事等を受注したことで2,056億円と、前年同期比14.0%増加となりました。

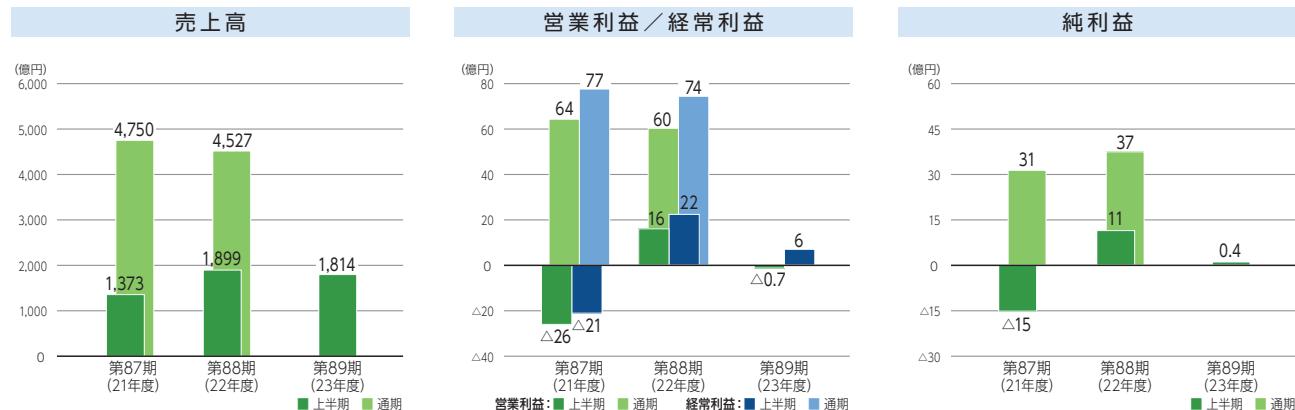
さて本年、当社は創業130周年を迎えました。これを機に、環境最先端テナントビル「TODA BUILDING 青山」の建設(3月竣工)をはじめ、技術研究所の施設整備(7月着工)などを実施しております。今後とも、厳しい経営環境が続くものと予想されますが、こうした取り組みを着実に進め、更なる成長に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

財務ハイライト(連結)



セグメントの概況

事業の種類別セグメントにおける業績は、以下のとおりとなっております。

■ 建築事業

売上高は1,480億円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益(営業利益)は32億円(前年同期比41.1%減)となりました。

当社個別の受注高につきましては、民間工事(国内)、官公庁工事(国内)、海外が増加し、全体では1,740億円と、前年同期比24.9%増となりました。

■ 土木事業

売上高は292億円(前年同期比1.3%減)、セグメント損失(営業損失)は7億円(前年同期は12億円のセグメント

損失)となりました。

当社個別の受注高につきましては、民間工事(国内)は前年同期比29.4%増となりましたが、官庁工事(国内)が前年同期比39.1%減となり、全体(海外含む)では315億円と、前年同期比23.1%減となりました。

■ 不動産事業

売上高は57億円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益(営業利益)は9億円(前年同期比4.7%減)となりました。

■ その他の事業

売上高は6億円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益(営業利益)は0.7億円(前年同期比55.9%増)となりました。

成長戦略

収益体制の再構築へ向けて

利益の回復、今後の更なる成長を確かなものとするべく以下のような施策を展開してまいります。

1. 建設ライフサイクルへの取り組みを推進
2. 重点分野の深耕
3. 海外事業の強化
4. 不動産投資の強化
5. 地域戦略

施策の概要と当上半期の進捗状況をご報告いたします。



海外事業の強化

新興国を中心とした海外需要を積極的に取り込み、当上半期のグループ全体の海外受注高は134億円(前上半期:79億円)となっております。内訳はブラジル58億円、東南アジア(タイ、ベトナム)50億円となっております。



建設ライフサイクルへの取り組みを推進

耐震補強や省エネ改修への社会ニーズの高まりを受けて、当上半期におけるリニューアル工事高は192億円(前上半期:183億円)となり、建築完成工事高全体の14%となりました。



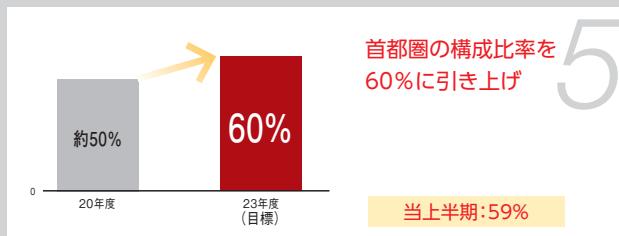
不動産投資の強化

本年3月に設立した不動産事業部にて投資案件の検討を進めております。安定収益基盤の確保に向け、リスクを正確に見極めながら、着実に投資を進めてまいります。



重点分野の深耕

当上半期の建設受注高において、建築では医療・福祉施設の占める割合が19.7%となり、土木では道路工事が35.1%となっております。結果、重点分野が受注全体の61.5%(前上半期:79.9%)を占めております。



地域戦略

当上半期の売上高の59%を首都圏にて計上しております。この水準を維持するとともに、これにあわせて人員をフレキシブルに投入し、仕事量に応じた配置を推進してまいります。

完成・受注工事のご紹介

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当上半期における主な完成・受注工事をご紹介します。

東洋文庫建替計画本館新築工事



工事名称 東洋文庫建替計画本館新築工事
工事場所 東京都文京区
発注者 財団法人 東洋文庫
竣工月 平成23年9月
工事概要 SRC造 地上7階 地下1階
床面積6,619.57m²
用途 事務所

平成20年度 紀勢線古里第2トンネル工事



工事名称 平成20年度 紀勢線古里第2トンネル工事
工事場所 三重県北牟婁郡紀北町
発注者 中部地方整備局
竣工月 平成23年6月
工事概要 トンネル延長:430m、掘削断面積:73.5~78m²
トンネル工法: NATM*、掘削方式: 発破掘削
用途 道路

■ 当上半期における主な完成工事

- ・(学)麻布獣医学園
麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事
- ・(学)東洋大学 板橋区清水町キャンパス(仮称)建設工事
- ・(学)東京農業大学 (仮称)新講義棟建設工事
- ・医療法人 青山信愛会 医療法人青山信愛病院改築工事
- ・日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター埼玉製造所建設工事
- ・関東地方整備局 圏央道茂原南IC改良その9工事

■ 当上半期における主な受注工事

- ・ヤマト運輸(株) 厚木物流ターミナル建設工事
- ・(学)大妻学院 大妻学院/大妻女子大学(仮称)千代田校舎建替計画
- ・独立行政法人 国立印刷局 滝野川工場新棟計画
- ・地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市新病院整備等事業
- ・一番町二丁目四番地区市街地再開発組合(仙台市)
一番町二丁目四番地区第1種市街地再開発事業施設建築物新築工事
- ・中国地方整備局 駒馳山バイパス福部砂丘トンネル工事
- ・東京都 豊洲新市場土壌汚染対策工事(6街区)(JM)

用語 > NATM…New Austrian Tunneling Method (新オーストリアトンネル工法) の略。

地山自体が持つ力を利用してトンネルを建設する工法で、主に山岳地で用いられる。

財務情報

第89期上半期決算情報

連結損益計算書のポイント

(単位:億円)

	前上半期		当上半期	
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)
建設	1,841		1,759	
不動産等	57		55	
売上高計	1,899		1,814	
(内、海外)	(27)		(74)	
建設	119	6.5	97	5.5
不動産等	16	28.1	15	27.7
売上総利益計	135	7.1	112	6.2
(内、海外)	(3)		(5)	
販売費及び一般管理費	119		113	
営業利益(△損失)	16		△0.7	
経常利益	22		6	
四半期純利益	11		0.4	

Point 1

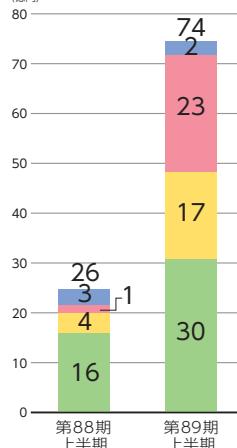
営業利益の減少

当上半期は、当社における建設事業の工事の進捗が下期にずれ込んだこと、厳しい受注環境の下、工事の採算見込が前上半期に比して悪化したことあって、建設事業の売上総利益が前上半期に比して22億円減少したものの、貸倒引当金の戻入益2.5億円を含め約6億円販管費が減少し、営業損益は△0.7億円となりました。

海外子会社

売上高

(億円)



売上総利益

(億円)

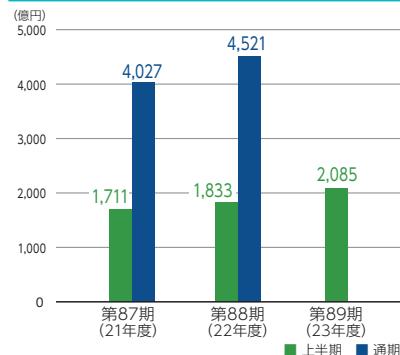


Point 2

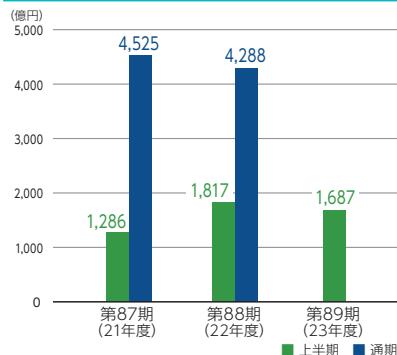
海外子会社の連結損益への貢献

成長戦略の一環として年間の海外受注高200億円を目指しています。その中で、当上半期の海外現地法人の売上高合計が74億円(前上半期比177%増)、売上総利益合計が5.2億円(前上半期比69%増)となりました。セグメント別では、建設セグメントの売上総利益が4.8億円と大きく伸長しています。

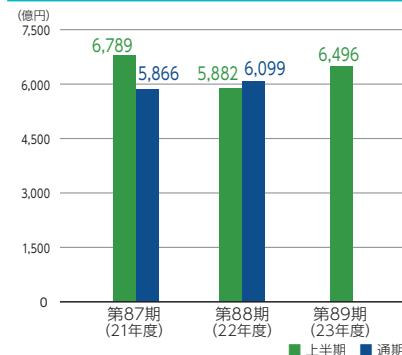
受注高(個別)



売上高(個別)



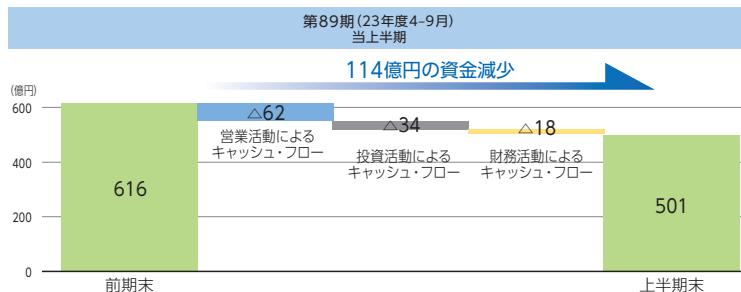
繰越高(個別)



連結貸借対照表のポイント



連結キャッシュ・フローのポイント



Point 3

不動産投資の継続

成長戦略の強化策として、不動産事業部を立ち上げ、引き続き不動産投資を進めています。当上半期も賃貸用不動産に約14億円投資しています。

Point 4

保有株式の時価下落

前期末に比して保有株式の時価が下落したことにより、固定資産に含まれる「投資有価証券の含み益」が97億円減少し、それに伴い、純資産に含まれる「有価証券評価差額金」も61億円減少しております。なお、当上半期末の時価が簿価の50%以上下落した株式については減損処理をして、評価損約6億円を特別損失に計上しています。

【参考】日経平均株価：前期末 9,755円
当上半期末 8,700円

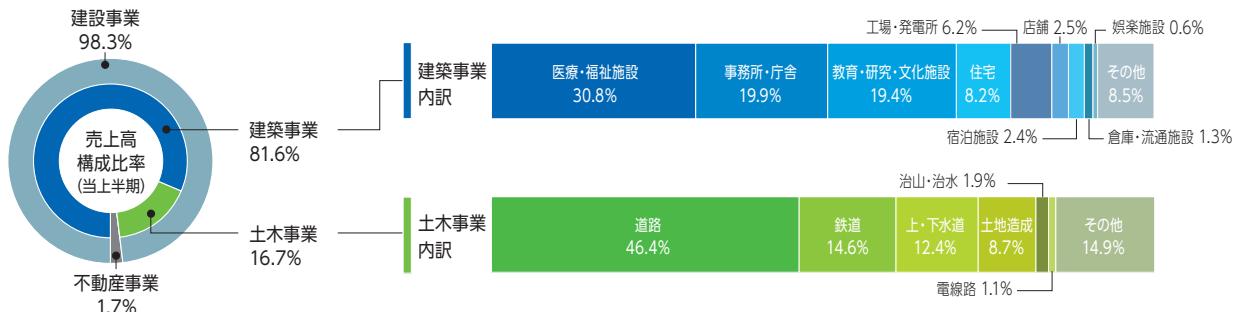
Point 5

キャッシュ・フローの状況

税金等調整前の四半期純利益が0.4億円にとどまり、工事収支も70億円の支出超になったことなどにより、営業活動としては62億円の資金減少となりました。また、投資活動は有形固定資産の取得20億円などにより34億円の資金減少、財務活動は配当金の支払い21億円などにより18億円の資金減少となりました。

その結果、当上半期における現金及び現金同等物は前期末に比べて114億円減少して501億円となりました。

事業種別 売上高構成比率(個別)



4月

5月

6月

エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束

5月18日(水)に「エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束の会」が開催され、本年夏に予想された電力需給の逼迫を鑑み、エコ・ファースト企業*が一般の企業に先駆けて節電の取り組みを環境大臣に約束し公表しました。この中で当社は、関東・東北の事業所および建設現場における7月～9月の最大電力を、前年同期に比べて15%以上削減することを約束しました。

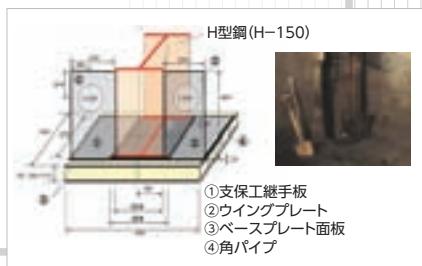


エコ・ファースト 2011年夏の節電の約束の会

山岳トンネルの新しい脚部補強工法「NT-Support」を開発

当社は西松建設㈱と共同で、山岳トンネルの地質不良箇所の問題となる支保工脚部沈下を、従来よりも安全で経済的に抑制する新しい工法を開発しました。同工法はトンネル軸方向に接地面積を確保した脚部ベースプレートと、鋼製支保工に取り付けたウイングプレートで構成され、鋼製支保工の軸力を分散させて初期の沈下を防止します。

今後、現場適用を増やしてデータを蓄積し、解析的な検証も進めて当工法を活用してまいります。



創業130周年を迎えました

当社は創業130周年を迎え、7月1日(金)に創立記念日式典を開催しました。

(社長挨拶抜粋)

創業者である初代戸田利兵衛翁の人となりは、代々の経営トップに受け継がれ、またその気風が社員にも浸透し、当社の社風となっています。

これからもお客様、施設を利用される方、近隣の方、設計者、協力会社、そして皆さんの想いをつないで、当社のブランドメッセージ「人がつくる。人でつくる。」を実践して建設事業を行っていきましょう。



創業130周年を記念して製作した和風

節電対策のための“見える化”開始

今夏は東京電力および東北電力管内では電力の使用制限が行われました。

テナントビルであるTODA BUILDING 青山では、テナントの節電意識を高めるために「エコインフォメーション」を提供し、テナントの自主的な省CO₂活動を促すシステムを導入しています。これは、専有部に設置したモニターに前日比の電力量や使用比率といった省CO₂情報をわかりやすく表示し、自主的な節電を促進するものです。また、データの収集と分析を行い今後の排出量を予測するマネジメントも行っています。



【エコまど】(エコインフォメーション)

用語 エコ・ファースト企業…環境保全に関する業界のトップランナーとして企業が環境大臣に対し、自らの環境保全に関する取り組みを約束し認定された企業です。(2011年10月31日現在 38社が認定を受けています。)

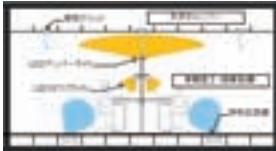
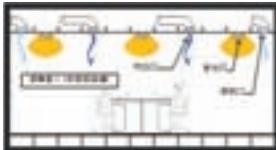
7月

節電・省エネ効果を実験施設で事前に把握

当社技術研究所で現在整備中の室内環境比較実験室は、同じ大きさの2室を有し、照明や空調などの設備システムや建築仕様の一部を自在に変更、組み換えることで、各種の比較実験を行うことができます。

これによりリニューアル前後の数値による効果の比較だけでなく、明るさや温冷感などを体感することが可能になります。

特に東日本大震災以降、節電・省エネルギーを目的とした改修工事の要望が拡大していますが、納得して仕様を決定することができ、顧客満足度の向上につながるものと考えています。



「室内環境比較実験室」のイメージ
(改修前(上)と改修後(下))

8月

一色川のホテルを守る取り組み

ホテルの自然繁殖数で東日本随一を誇る山梨県南巨摩郡身延町一色地区で、施工中のトンネル建設工事において、「TSフィルター過装置」を用いた濁水処理システムを設置し、ホテルの育成のための環境保全活動に取り組んでいます。

▶▶ 詳しくはP.9(技術のご紹介)をご覧ください。

9月

黒川地区周辺の清掃活動から学ぶ生物多様性

9月15日(木)に現在工事中の「明治大学農学部黒川新農場(仮称)整備計画」(神奈川県川崎市麻生区)作業所周辺において、地域の自然環境の保全を図る清掃活動を実施しました。



清掃活動の様子

当社の社員17名が、小田急線黒川駅から作業所までの沿道および木陰のある林道と併せ約4.7kmの清掃活動を実施しました。それと同時に、生物多様性について学ぶ目的で、清掃中に見つけた虫の種類などを調べました。

また当社では、生物多様性の豊かな里山環境の創作的再生の手法を確立するために、倉本教授の指導のもと、2014年3月まで、明治大学と共同研究を行っています。

平成23年度京橋地域総合防災訓練を実施

9月8日(木)、中央区、中央警察署、京橋消防署の協力のもと、京橋地域各町会、TODA BUILDING、ブリヂストンビル、全国信用組合会館の平成23年度京橋地域総合防災訓練が行われ、約3,000人が参加しました。

7回目となる今年の訓練内容は、各事業所及び周辺町会において震災訓練・消火訓練を行い、地域合同訓練として応援消火訓練、応急救護訓練、帰宅訓練、はしご車・起震車乗車体験、AED(自動体外式除細動器)操作訓練、煙体験、ゴージャック訓練、特別救助隊による屋上降下訓練が行われました。また、戸田建設男子自衛消防隊の模範演技も披露されました。



地球の明日を考える戸田建設の技術

当社は地球の明日を考え、環境を護り、皆様の生活を守るための技術開発を行っています。当社が提供する環境関連技術の一部をご紹介します。



濁水・汚染水処理技術の開発

高度濁水処理技術「TSフィルター過装置」

トンネル建設などの土木工事では、掘削土砂などを含む濁水が発生することがあります。当社では、独自に開発した濁水処理技術「TSフィルター過装置」を工事で発生する濁水の浄化に適用しています。

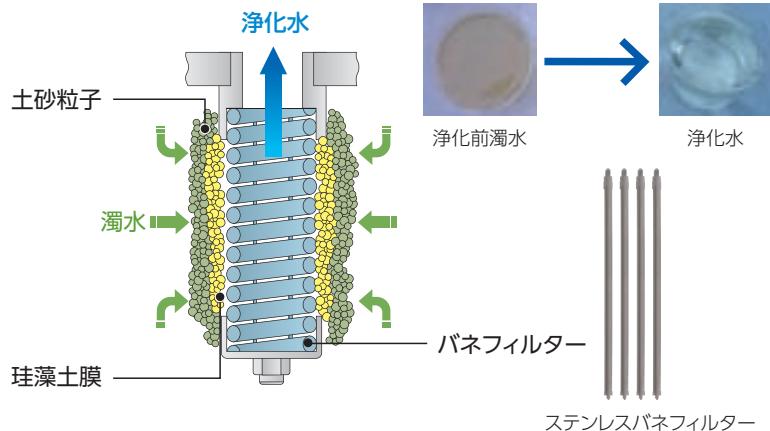
「TSフィルター過装置」は、ステンレス製のバネの表面に珪藻土という粉で膜をつくり、土砂などの粒子をろ過する装置です。珪藻土の膜は、土砂粒子などを確実に捕捉する一方で、水を通しやすい性質を持っているため、コンパクトな装置にもかかわらず

多量の水を処理することができます。

本装置で高度処理された水は、河川などの水質基準の10倍以上の清澄度に改善されます。山梨県内のトンネル建設工事では、清流に生息するホタルなどの生活環境を保全するために適用されました。

「TSフィルター過装置」は、ダイオキシンなどの有害物質を浄化する効果もあるため、古くなった焼却炉を解体する工事で発生するダイオキシン汚染水の浄化にも適用されています。

●TSフィルターの構造



トンネル工事適用事例



■ 会社概要

(平成23年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都中央区)・千葉支店(千葉市)
- ・関東支店(さいたま市)・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)
- ・名古屋支店(名古屋市)・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)
- ・広島支店(広島市)・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)
- ・国際支店(東京都中央区)

技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田リフォーム(東京)
- ・シブコー工業(東京)
- ・アペックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・千代田土地建物(東京)
- ・八千代アーバン(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・千代田スタッフサービス(東京)
- ・戸田アメリカ
- ・戸田ブラジル
- ・戸田上海
- ・タイ戸田
- ・戸田ベトナム

● 従業員の状況

従業員数 5,133名(連結) 4,134名(個別)

● 取締役および監査役

取締役名誉会長	戸田 順之助	常勤監査役	戸田 守道
取締役相談役	戸田 守二	常勤監査役	内藤 博之
代表取締役会長	加藤 久郎	監査役	鍛冶 田明
代表取締役社長	井上 舜	監査役	増田 健一
代表取締役	白井 正幸	監査役	増鈴 木勝
代表取締役	岡 敏朗		
代表取締役	野村 昇		
取締役	戸田 秀茂		
取締役	山下 雅己		

- (注) 1: 監査役鍛冶良明氏、増田健一氏および鈴木勝利氏は、社外監査役であります。
2: 監査役鍛冶良明氏は東京証券取引所および大阪証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株式の状況

(平成23年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 12,700名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
大一殖産株式会社	33,639
戸田順之助	31,022
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカン クライアント	23,247
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,496
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,458
戸田守二	11,356
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	9,001
株式会社みずほ銀行	7,107
三宅良彦	7,087
ビービーエイチ493025ブラックロック グローバルロケーションファンドイング	6,989

- (注) 1: 上記のほか当社所有の自己株式11,267千株があります。
2: 戸田守二氏の持株数は、戸田建設役員持株会における持分を含めた実質所有株式数を記載しております。

■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(通話料無料)

上場金融商品取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

公告の方法

電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.toda.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

株主優待制度の新設

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有してくださる株主様の増大を図ることを目的として株主優待制度を新設しました。

■ 対象となる株主様

平成23年より、毎年9月末時点の当社株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象といたします。

■ 優待内容

当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセト」(山口県大島郡周防大島町)の株主優待券を贈呈いたします。



割引率

平日(日曜日~木曜日)	正規の宿泊料金より30%割引
休前日(金曜日・土曜日・祝前日)	正規の宿泊料金より20%割引

※ キャンペーン商品は対象外

発行基準

所有株式数1,000株以上5,000株未満	2枚
所有株式数5,000株以上	4枚

■ ご利用方法

ご予約の際に優待券面に記載された番号をご連絡ください。株主優待券1枚につき1回あたり1室のご利用ができます。なお、本制度の対象となる客室は1日あたり5室までといたします。

ホテルのご紹介

ホテル&リゾート
サンシャイン サザンセト

■ 住所

〒742-2511
山口県大島郡周防大島町
片添ヶ浜

■ 連絡先

TEL 0820-78-2121
FAX 0820-78-2020

■ WEBページ

<http://www.sunshine-jp.com/>

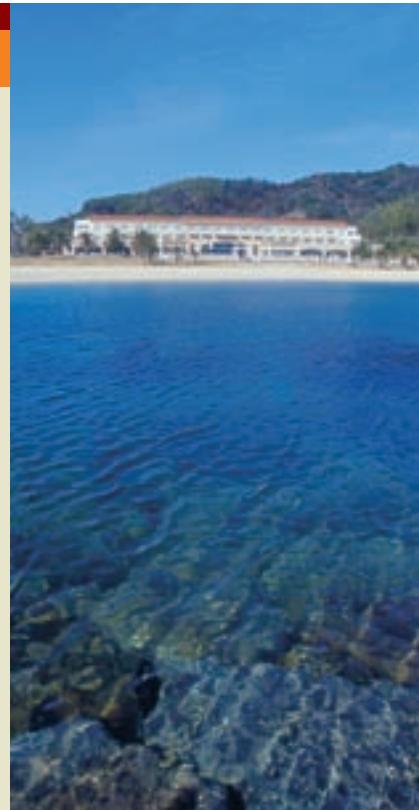
■ 総客室数 73室

■ 最大ベッド数 244台

■ 駐車場 200台

■ 温泉

温泉名:片添ヶ浜温泉
種類:露天風呂・サウナ・天然温泉
泉質:ナトリウムイオン泉



戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03)3535-1357
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。